

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	臨海部整備推進事業				事業番号	017-055	
担当部署名	建築都市局	局	都市整備部	部	都心未来創造課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3)人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立		
			有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携				
		寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）				
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)		目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)	
			有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3	
		寄与するKPI	有	取組	堺市都市計画マスタープランに基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進				
			有・無	指標名	—				
	無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画			「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）/堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺臨海部再生・創造ビジョン」					
3	事業開始年度			平成 21 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度	
4	実施根拠			港湾法					

事業の概要

5 事業の実施主体	本庁		
6 事業の対象	対象者：親水空間及び海浜を利用する市民及び市外からの来訪者 対象地域：堺浜周辺	対象数	単位
		—	—
7 事業の目的	堺臨海部再生・創造ビジョンに示した、水質の改善による大阪湾の再生と環境負荷の軽減により、良好な生態系を生み出し海辺の環境改善を図る。さらに、自然環境の再生を進めることで、砂浜などに集まった人々の交流空間を創出し、人や生き物、環境に優しい魅力あふれる親水空間を提供する。		
8 事業内容	・堺浜における海辺の環境改善や活性化に向け、砂浜を造成・維持し、その水質浄化や自然回復の能力を検証する。 また、砂浜の清掃、安全確認を行う。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容		
9 主な支出先	調査会社、土木請負業者		
10 公民連携・協働事業	企業等との協働による清掃活動		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	生物観測数	種		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	41	46	51	51
			実績値	46	51		
	達成率	112%	111%				
当該指標を選定した理由		生物多様性の保全・再生に向けた実験の場である堺浜自然再生ふれあいビーチにおいて、生物多様性に係る効果を測ることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		モニタリング調査					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	巡回件数	回		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	—	48	48	
			実績値	—	48		
		達成率	—	100%			
当該指標を選定した理由		常駐管理者がいない堺浜自然再生ふれあいビーチにおいて、職員が定期的に巡回することで、環境を確認することができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		職員の巡回件数					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	臨海部整備推進事業	事業番号	017-055
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	9,207	10,688	16,465	10,626	15,664
	財 国支出金	0	0	0	0	0
	源 府支出金	0	0	0	0	0
	内 市債	0	0	0	0	0
	記 その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	9,207	10,688	16,465	10,626	15,664
14	人件費（b）	12,960	13,140	13,560	13,560	12,290
15	年間経費（c）=(a)+(b)	22,167	23,828	30,025	24,186	27,954

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	堺浜ふれあいビーチ維持管理業務		2,756	2,756	修繕料	R7	決算	0	0
		R8	予算	2,473	2,473		R8	予算	3,947	3,947
	水質調査業務	R7 決算		4,939	4,939	手数料料	R7	決算	211	211
		R8 予算		6,343	6,343		R8	予算	392	392
	産業廃棄物処理業務	R7 決算		215	215	保険料	R7	決算	17	17
		R8 予算		0	0		R8	予算	18	18
	堺浜ふれあいビーチ養浜工事	R7 決算		2,420	2,420		R7	決算		
		R8 予算		2,422	2,422		R8	予算		
	光熱水費	R7 決算		68	68		R7	決算		
		R8 予算		69	69		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 生物観測数	種	46	51
	② 上記①にかかる年間経費	千円	22,440	22,805
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	487,826	447,157
算出についての説明等		当事業にかかる事業費や人件費により算出		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・前年度に比べ多くの生物が観測されており、単位当たり経費は下がっている。 ・砂浜の養浜工事や維持管理を行い、市民に良好な水辺空間を提供した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・海域の環境改善を進め、適切な維持管理を行ったことにより、市民に快適な水辺空間を提供した。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	砂浜の養浜工事などの実施により海域の環境改善が図られ、KPIである生物観測数の増加に寄与したと考えられる。
	有効性	■ 高い □ 低い	